

SON東京 ボランティア・オリエンテーションシート
(プログラム)

2009年6月現在(09.06.05)

#1-1

プログラム名	ボウリング
会場名	芝浦会場 東京ポートボウル
主任コーチ	米田 博之 副主任コーチ 加納 栄二
マネージャー	梅村 京子
参加アスリート数	登録者約 40 人
年齢構成	小学生(約 1 人)、中学生(約 2 人)、高校生(約 2 人)、社会人(約 35 人)
ボランティア数	約 20 人 (うちファミリーが約 10 人) 毎回約 15 人参加
年齢構成	大学生以下(約 人)、社会人・主婦(約 20 人)、シニア(約 人)
アスリートとボランティアの触れ合い状況	ボックス内での挨拶、準備体操・整理体操、ボランティアがボックス内のアスリートに積極的に話しかけ、一緒にゲームを楽しむ。
競技指導のやり方	・ベテランコーチとボランティアをペアにし、ゲームを通してマナーとルールを習得させ、安全第一に指導をする。競技経験の少ないアスリートには、個別に指導し、楽しく参加できるよう心がけている。
既存ボランティアの競技レベル	・競技レベルに達しているボランティアは少ないが、ボウリングを通じてマナーやルール、そして思いやりや我慢等を身につけてもらうことが主目的ですので、アスリートに誠実に接していただければ十分です。 ・競技レベルに関しては、1クールに3回以上コーチトレーニングを実施しています。
既存ボランティアの参加頻度	1クール3～4回以上の参加、出席率90%以上
希望するボランティアの経験レベル	競技レベルに記載のとおり、未経験者でも大丈夫です。
ボランティアに希望するシヨブ、メッセージ	・レーンに入ってアスリートと一緒にゲームをする他、各クールの最終日に合同発表会を開催していますので、スコア集計や会場警備等を含めてアスリートの応援。 ・アスリート達は、企業を含め新規のボランティアは大歓迎ですので、例え1回の参加でも嬉しいです。
その他注意事項(服装など)	スポーツプログラムですので、ジーンズは禁止、半そでのポロシャツ・Tシャツ着用。競技中は、原則として飲食禁止です。

#1 2

プログラム名	ボウリング
会場名	蒲田会場(イモン・ボウル)
主任コーチ	吉井 明一
参加アスリート数	登録者約 50人
年齢構成	小学生(約 1人)、中学生(約 2人)、高校生(約 2人)、社会人(約 45人)
ボランティア数	約 15人 (うちファミリーが約 13人) 毎回約 10～12人参加
年齢構成	大学生以下(約 人)、社会人・主婦(約 10人)、シニア(約 5人)
アスリートとボランティアの触れ合い状況	練習前後の挨拶の励行、準備体操・整理体操。練習中は対話を通して、お互いの理解を深めると同時に、信頼関係に繋がる事を願っています。
競技指導のやり方	安全の確保を最優先に考え、先ずはマナーを覚えて貰い、。経験の少ないアスリートには、楽しく参加出来るよう経験豊富なコーチを配して、徐々に慣れ親しんで貰うようにする。
既存ボランティアの競技レベル	競技レベルに達しているボウは少なく3～4名程度。コーチ・トレを行いたいのですが、会場の関係で出来ないのが現状です。他会場のコーチ・トレに率先して参加を促しています。
既存ボランティアの参加頻度	毎回10名程のファミリーと、他に2～3名の方がボランティアとして参加。アスリートの、マナーと技術向上を目指し、その他に付き添いの保護者の方が受付・レーンサポートなどを、毎回2～3名が交代で行っています。

希望するボランティアの経験レベル	技術レベルは特に問いません、長期間の参加を希望。現在のコーチ年齢を考えますと、若い方の参加を期待します。
ボランティアに希望するジョブ、メッセージ	1クールに2～3回程度の参加、まずはアスリートと一緒に楽しく、少しずつ理解を深めて貰いたい。その他イベント等にも顔を出して、他会場の方とも交流を。
その他注意事項服装など	アスリートの保護者との対話を通して、当日の状況把握の参考として対応出来る様にする。ジーンズ禁止、ユニフォーム(ポロシャツ)着用。練習中の飲食禁止等。

#1 4

プログラム名	ボウリング
会場名	高田馬場(シチズンボウル)
主任コーチ	金子 登喜雄
参加アスリート数	登録者約 58人 (うち重度障害 0人)
年齢構成	小学生(約 2人)、中学生(約 5人)、高校生(約 6人)、社会人(約 42人)
ボランティア数	約 28人 (うちファミリーが約 21人) 毎回約 15人参加
年齢構成	大学生以下(約 人)、社会人・主婦(約 20人)、シニア(約 人)
アスリートとボランティアの触れ合い状況	挨拶 - 体操 - 練習の流れの中で、積極的に話しかけ、アスリートの状態把握をする。
競技指導のやり方	アスリートのその日の状態、いままでの経緯、投球状況を把握して、ワンポイントアドバイスする。
既存ボランティアの競技レベル	プロ級の人から、2～3回の経験の人までいろいろ
既存ボランティアの参加頻度	1クール(6回)、3～4回
希望するボランティアの経験レベル	特に問わない。(初心者～プロ級まで)
ボランティアに希望するジョブ、メッセージ	障害を持っているからといって、可哀想と思わない。最初は教えてあげる(指導する)ことよりも、アスリートと仲良くなることに努力する。
その他注意事項服装など	

#1 6

プログラム名	ボウリング
会場名	荻窪会場(荻窪ユアボウル) JR「荻窪」駅西口下車 徒歩1分
主任コーチ	安村 朝昭
マネージャー	西村 清美
参加アスリート数	登録者約 35人
年齢構成	小学生(約 2人)、中学生(約 3人)、高校生(約 5人)、社会人(約 25人)
ボランティア数	約 10人 (うちファミリーが約 8人) 毎回約 8人参加
年齢構成	大学生以下(約 人)、社会人・主婦(約 8人)、シニア(約 2人)
アスリートとボランティアの触れ合い状況	プログラム参加時から終了時まで、安全に楽しく行う。
競技指導のやり方	マナ - とル - ルを重視、社会参加の一助となるよう、プログラム参加者に生活・技術指導を行う。
既存ボランティアの競技レベル	初心者から技術指導が出来るレベルまで、多士済々。
既存ボランティアの参加頻度	各自のスケジュールに合わせて調整参加(1クール毎に事前登録)(出席率 90%)
希望するボランティアの経験レベル	特に問わない。
ボランティアに希望するジョブ、メッセージ	アスリートは、コーチの行動を模倣することが多いため、規律ある態度とアスリートを理解しようとする明るい方。
その他注意事項(服装など)	ジーンズでのプレイおよびボックス内での飲食・喫煙は禁止。また、ハウスシューズを借用する場合は靴下を必ず履くこと。半袖のポロシャツが望ましい。